

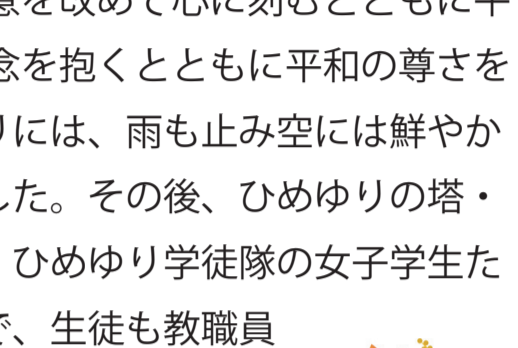
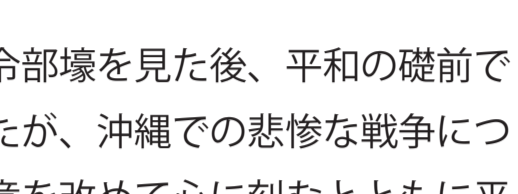


発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地
TEL:0772-62-1012 Fax:0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

2年生 修学旅行

12月2日(水)～12月5日(土)、2年生231名が沖縄での修学旅行に行ってきました。

1日目はバスで伊丹空港まで移動し、伊丹から空路で沖縄に向かいました。初めて飛行機に乗る生徒も多く、離陸した瞬間には小さな歓声が上がりました。那覇空港で飛行機を降りると、丹後の寒さとは違って変わって湿度の高い独特の暑さが旅行団を迎え、沖縄の地を踏みしめていることを実感しました。この日は平和学習を中心に、集団自決が行われた旧海軍司令部壕を見た後、平和の礎前での平和セレモニーを行いました。セレモニー直前からにわか雨が降りましたが、沖縄での悲惨な戦争についての事前学習で策定した「平和の誓い」を高らかに宣言し、平和への決意を改めて心に刻むとともに平和への願いを込めた千羽鶴と献花を行いました。生徒たちは哀悼と慰霊の念を抱くとともに平和の尊さを感じていたようです。セレモニーの終わりには、雨も止み空には鮮やかな虹がかかり、とても印象に残る光景でした。その後、ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館での見学を行い、ひめゆり学徒隊の女子学生たちが当時の悲惨な様子を描いた文章の前で、生徒も教職員も立ち止まり、戦争の恐ろしさを改めて感じているようでした。ホテルに着いて食事後は、地元の沖縄国際大学の皆さんによる、熱気あふれる現代風のエイサーを全員で鑑賞しました。最後は、本校生も入り混じってエイサーを楽しみ大変盛り上がりしました。



<4組>



<5組>



2日目は世界遺産の今帰仁城跡を散策した後、伊江島での民泊を行いました。入港時の歓迎の横断幕から始まり、楽しいパフォーマンスなど趣向を凝らした入村式後、それぞれの民泊先の方に迎えられ各家庭へ移動しました。生徒は伊江島タッチューの名で親しまれている城山(グスクヤマ)を登るなど伊江島の自然を満喫したり、沖縄民謡や釣り、沖縄料理などを体験したりと伊江島を思う存分楽しみました。生徒たちにとって、それらの経験は貴重なものですが、何よりも民家の方との触れ合いと語らいが一番の思い出となったようでした。



3日目は各家庭で体験したことを発表するなど心温まる離村式を終え、お世話になった民家の方との別れを惜しみつつ島を後にしました。いつまでも見送ってくださる民家の方にフェリーの甲板上から手を振り、涙する生徒も見られました。沖縄本島に戻ってからは、美ら海水族館を見学、午後には自然・伝統文化体験として、グラスボートやドラゴンボートでのマ



<1組> リン体験、エイサー体験や藍染め、シーサーの色付け体験など沖縄特有の文化・風土を体感しました。夜には、レクリエーション委員があためてきた「大イントロ大会」が行われ、最後はステージ上でレクリエーション係中心に飛び入り生徒や担当教員による「ランニングマン」のダンスがアンコールの声で行われるなど、たいへん盛り上がる中、修学旅行最後の夜が終わりました。4日目はホテルから徒歩で移動し守礼門・首里城を見学してから、グループごとの自由行動を行いました。首里駅からモノレールに乗って国際通りに移動し、たくさんのお土産店や美ら海水族館などのアンテナショップが立ち並び中、ショッピングを楽しみました。生徒たちは目移りしながらも家族へのお土産を両手いっぱい抱え、最後の沖縄料理の昼食を味わい沖縄での最終日を終わりました。

<自然・伝統体験>



多くの生徒にとって初めてとなる沖縄への修学旅行は、天候に恵まれ、様々な体験を積み重ねながら、平和の尊さや集団活動の意味を感じるなど多くのことを吸収し、仲間との沢山の思い出ができました。この旅行中に培われたクラスのきずなや経験が今後の高校生活で生かされていくことを確信した有意義な4日間でした。

会場 本校第1体育館

<お詫びと訂正>『峰高だより』先月号並びに、折込3号において、掲載内容に誤りがございました。皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

- ・リーディングコンテスト (誤) 4位 小林聖さん(5組・橋中出身) → (正) 小林聖さん(6組・橋中出身)
・「国際社会のこれから～安心して暮らせる国際社会にするには～」をタイトルとした論文コンテスト (誤) 大江那月さん → (正) 尾江那月さん(2年・網野中出身)

芸術科授業選択者と、吹奏楽部・美術部・書道部の作品展示 および演奏発表

第十八回 峰高展

作品展示 2月20日(土) 10:00~17:00
21日(日) 10:00~15:00

演奏発表 2月20日(土) 10:00~11:30
*音楽授業選択者による発表
2月21日(日) 13:30~14:30
*吹奏楽部による演奏

ゆめプロジェクトにご協力をお願いします!
集めた古本が陸前高田市の図書館建設費、蔵書比になります。峰高展の期間中、会場にて古本を回収します。
※雑誌・漫画以外の、読める状態の本のみ

進路実現を目指して(センター試験・2年生分野別進路説明会)



1月16日(土)、17日(日)の2日間、全国一斉に大学入試センター試験が実施され、峰山高校からも56名が受験しました。

センター試験を受験する生徒たちは、冬季休業中にセンター試験の本番と同じ時間割で試験を行い、本番に備えていました。試験を目前に控えた13日(水)には、最後の説明会と校長・学年部長から温かい激励の言葉があり、生徒たちは、真剣に話を聞いていました。そして、15日(金)の昼に貸切バスにて、丹後を出発、試験会場を下見し、京都市内のホテルに宿泊し、試験に臨みました。今後、国公立大学の個別試験やセンター利用私大の出願先を担任と、進路指導部、本人、保護者の4者面談で決定します。



・2年生分野別進路説明会

1月7日(木)の7限目に2年生を対象とした、分野別進路説明会を行いました。これは進路調べ学習に向けた事前指導です。就職・公務員、大学、短大、専門学校、看護医療の分野に分かれて具体的な話を、生徒たちは熱心に聞いていました。今後は、一人一人が自分の進路について調べていきます。2年生3学期は3年生0学期と言われる。自分の進路実現に向けて、これから努力をしていってほしいです。

進路速報

就職希望者全員内定を獲得!

Table with 3 columns: 就職 (地元5名), 府内(8名), その他(2名), 公務員. Lists various companies and institutions.

主な進学先 推薦入試結果 一国立大推薦入試に9名合格

Table with 3 columns: 国立大学(9名), 私立大学(一部抜粋), 短期大学(一部抜粋). Lists various universities and colleges.

科学の教室④ クリスマスレクチャー

12月16日(水)に、『防災教育で夢をつなぐ ～阪神・淡路大震災からのスタート～』と題して、NPO法人さくらネットで防災教育の担当として活躍されている河田のどかさんに講演をしていただきました。1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震を7歳の時に体験され、現在は阪神淡路大震災では、地震に備えていれば4000人の命が助かったとも言われています。生きたい、人の命を守りたいという気持ちを持ち、防災教育を通じて防災の知識と経験を育むことで、未来のたくさんの命を守ることができるという事を、ご自身の体験をもとにお話をいただきました。河田さんが高校生の時に、水害後の豊岡で浸水した家屋の泥出しボランティアをされたお話や、アルバイトでお金をためて地震防災のためにネパールに行かれたお話など、ボランティア活動に興味のある生徒にとって参考になり励ましていただけのお話でした。講演が終わると椅子を円形に並べて生徒とのトークタイム。河田さんをより身近に感じながら、会話を通じてたくさんのお話を学べたのではないかと思います。



<クリスマスレクチャー>

<生徒とのトークタイム>

リレーメッセージ

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。今回は私の好きな曲を紹介し、メッセージを送ります。それはコブクロの「風見鶏」です。歌詞に次の一節があります。「いつの日も 向かい風を探す 風見鶏のように 真っすぐ時代と立ち向かい 生きてゆきたい 逃げ出さないように 流されないように 心に深く深く 突き立てた 風見鶏」。

みなさんは、風見鶏というものを知っていますか。家の屋根についており、風の吹く方向を教えてください。歌詞の通り、風が吹いてきた方向に顔を向けます。風が強い日も、雨の日も。強いですね。私は何度もこの曲に励まされてきました。もうこのへんでいいかな、逃げたいな～という時に聴くと、確かに自分は弱い、まだまだ未熟者だ。でも、そんな自分を受け入れて、もう一回り大きくなってみせると気持ちが入ります。

さて、最後にみなさんに問います。あなたは今、必死に取り組んでいるものがありますか? 勉強や部活などで、自分の限界を勝手に決めていませんか。まあこんなもんやろと。曲の最後に、「弱い自分に勝てるなら 誰に負けたって良いさ」という部分があります。弱くてもいいんです。逃げないで、必死になって前を向いていくと、その先でもう一回り大きくなった自分に会えると思います。今年もみなさんの必死な姿、楽しみにしています。 地歴公民科 百々貴紀